

平成 28 年度 外部及び内部学校評価

年間評価

平成 29 年 2 月

アンケート集計と達成目標数値に基づく評価

- 1 学校運営の充実
- 2 学習指導の充実
- 3 進路指導の充実
- 4 生徒指導の徹底
- 5 教育環境の整備
- 6 部活動の充実と振興

福島県立喜多方東高等学校

平成 28 年度 外部及び内部学校評価の集計結果(2月)

●年間学校教育評価票(アンケート)集計対象と回収状況

アンケート対象	対象人数	配付数	回収数	回収率	備 考
生 徒	331	327	325	99.4%	
保護者	331	327	146	44.7%	
教職員	25	25	25	100%	

●年間評価

★ 1 学校運営の充実

◇アンケート評価：【総合=4.0】（中間評価=4.1） (アンケート項目 年間評価 中間評価)

- ・学校運営の活性化に努める。…………… (教員 1 4.2 4.3)
- ・地域との連携強化を図る。…………… (教員 2 3.6 3.8)
- ・PTAとの連携強化を図る。…………… (教員 3 4.0 4.2)
- ・不祥事防止に努める。…………… (教員 4 4.7 4.7)
- ・本校にはよい校風がある。…………… (生徒 2 3.9 4.0)
- ・学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。(保護者 1 4.0 3.9)
- ・本校のPTA活動は活発である。…………… (保護者 5 3.8 3.9)

◇達成目標数値評価

◎PTA 総会及び学級懇談会の出席率(%)：5割程度を達成目標値4とする。

		P T A 総会出席				学級懇談会出席			
		1 学年	2 学年	3 学年	総 計	1 学年	2 学年	3 学年	総 計
平成 27 年度	在籍	108	115	93	316	108	115	93	316
	出席	48	35	39	122	59	36	43	138
	率%	63.9	43.5	60.2	55.4	54.6	31.3	46.2	43.7
平成 28 年度	在籍	114	104	114	332	114	104	114	332
	出席	48	27	44	119	43	26	44	113
	率%	42.1	26.0	38.6	35.8	37.7	25.0	38.6	34.0
達成目標値 4 (%)		50.0				50.0			
評 価		3				3			

◎PTA 新聞の発行回数：年 2 回を達成目標値 4 とする。

	P T A 新聞の発行数
平成27年度	年 2 回
平成28年度	年 2 回
達成目標値 4	年 2 回
評 価	4

◎PTA 活動状況：委員会活動等他校と比較して本校の活動が普通であれば達成目標値3、他校比較して活発であると認められる活動や実績等があれば達成目標値4とする。

	P T Aの委員会活動等で、本校のP T A活動が活発であると認められる活動や実績等（他校でも通常行っている活動除く）
平成27年度	朝のあいさつ運動（6・8・10月 3回） 進路指導学習会（7月 2回） 花壇づくりによる美化運動（6・10月 2回） 祭礼補導（8月 1回） 広報誌の発行（8・3月 2回）
平成28年度	朝のあいさつ運動（6・8・10月 3回） 進路指導学習会（7月 2回） 花壇づくりと除草作業による美化運動（6・7・10月 3回） 祭礼補導（8月 1回） 広報誌の発行（9・3月 2回）
達成目標値4	学校の教育環境の向上に積極的に取り組む
評 価	3

◇評価項目以外の主な取り組み

- ・学校評議員会（年3回、外部評価の実施等）

◇総評：日頃よりP T A活動におきまして、ご理解とご協力をいただき大変ありがたく思います。学校と保護者や地域の方々との連携があって、はじめて学校運営が活性化されるものと思います。P T A活動では、朝のあいさつ運動や祭礼補導、花植え作業と除草作業、進路学習会での受験対策、学校の様子を記事にした広報誌づくりにも力を注いでいただきました。今年度は、会津地区が県高P連大会会場ということもあり、本校P T A役員の方々にも積極的に参加いただき成功裏に終わることが出来ました。このこともP T A活動の一つとして大変ありがたかった活動でした。

★2 学習指導の充実

◇アンケート評価：【総合=3.9】（中間評価=3.9） （アンケート項目 年間評価 中間評価）

- ・自ら学ぶ意欲の向上を図る。……………（教員5 3.5 3.8）
- ・基礎学力の定着・向上に努める。……………（教員6 4.0 4.0）
- ・分かる授業の実践を推進する……………（教員7 4.2 4.1）
- ・教職員の研修の充実を図る。……………（教員8 3.7 3.8）
- ・授業満足度を高める。……………（教員9 3.6 3.7）
- ・授業はわかりやすく充実している。……………（生徒3 3.7 3.8）
- ・分からないことについて、先生に質問しやすい。……………（生徒4 3.6 3.6）
- ・授業中私語などをせずに意欲的に授業を受けている。……………（生徒9 3.9 4.0）
- ・遅刻などせず、朝の読書にもきちんと取り組んでいる。……………（生徒10 4.3 4.5）
- ・教員は子どもの能力や努力を適切に、また公平に評価している。（保護者6 4.0 4.1）
- ・子どもは学習や授業に意欲的に取り組んでいる。……………（保護者9 3.9 3.9）

◇達成目標数値評価

◎成績優秀者数及び欠点科目所持者数：過去2年の実績を参考に達成目標値4を設定する。

	1 学 期		2 学 期		年 間	
	成績優秀者数	欠点科目所持者数	成績優秀者数	欠点科目所持者数	成績優秀者数	欠点科目所持者数
平成26年度	59	55	41	71	36	15
平成27年度	49	31	39	51	39	4
平成28年度	49	35	33	39	2月時点では未集計	
達成目標値4	50	40	40	50		
評 価	3	5	3	5		

◎皆勤者数、欠席者数、遅刻者数、早退者数

	1 学 期				2 学期迄の累積				年間(1月末まで)			
	皆勤者数	欠席延数	遅刻延数	早退延数	皆勤者数	欠席延数	遅刻延数	早退延数	皆勤者数	欠席延数	遅刻延数	早退延数
平成26年度	164	492	277	84	96	1850	980	363	90	2134	1177	423
平成27年度	135	348	149	87	80	965	526	316	70	1189	699	375
平成28年度	144	313	235	83	81	784	619	294	73	945	736	355
達成目標値	100	314	135	79	80	869	474	285	60	1071	630	338
評 価	5	4	2	3	4	4	2	3	4	5	3	3

達成目標値 皆勤者、各学年 20 名以上 欠席・遅刻・早退 10%減（対前年度比）に設定。

◎自習時間数

	1 学期	2 学期迄の累積	年間(1 月末まで)
平成26年度	108	230	236
平成27年度	65	183	189
平成28年度	106	232	242
達成目標値	59	165	171
評 価	2	2	2

達成目標値 前年度の 10%減に設定

◎学校図書の一入平均貸出冊数

	1 学期	2 学期迄の累積	年間(1 月末まで)
平成26年度	0.8	1.3	1.4
平成27年度	1.1	1.5	1.6
平成28年度	0.6	1.0	1.0
達成目標値	1.0	2.0	3.0
評 価	3	3	2

達成目標値 3冊を4に設定

◇評価項目以外で、本校で行っている主な取り組み

- ・朝の 10 分間読書活動（月～金、8:30～8:40）
- ・基礎力テスト（漢字・英単語・数学）年 5 回
- ・チャイム to チャイムの励行
- ・情報処理室での授業（実技）を T T により実施
- ・ALT の配置

◇総評：学習指導の充実に関して、教員のアンケート項目「分かる授業の実践」は 4.2 と高評価であるのに対し、「自ら学ぶ意欲の向上」が 3.5 と中間評価と比べて大きく低下している。一方、これに関連する生徒のアンケート項目「授業のわかりやすさと充実」は 3.7 と昨年と比べ若干改善している評価であった。教員としては分かる授業の実践のために力を注いでいるが、生徒はそれをあまり実感してはいないこと、また、教員側の努力の割に生徒の学習に対する取り組みはそれほど変化がなかったために、生徒に対する教員の評価が辛口になったと思われる。基礎学力の向上に関して、今年度は基礎力テストを活用し、数学の成績不振の生徒に対して事後指導を行った。これは就職試験等で必要とされる一般常識レベルの内容であり、今後その成果が現れることを期待したい。成績下位層への学習支援同様、成績上位層の生徒がワンランク上の進路希望を実現するのを支援するような学力向上対策も考える必要がある。

★3 進路指導の充実

*自己実現を図る

◇アンケート評価：【総合=3.9】（中間評価=3.9）

（アンケート項目番号 年間評価 中間評価）

- ・個に応じた進路指導の充実に努める。……………（教員 10 4.2 4.3）
- ・3年間を見通した進路指導の一層の充実に努める。……………（教員 11 3.8 3.8）
- ・キャリア教育を推進する。……………（教員 12 3.8 3.7）
- ・学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。……………（生徒 6 3.9 4.0）
- ・学校は進路に関して、家庭への適切な情報提供を行っている。（保護者 3 3.9 3.9）

◇進路希望の推移とその結果

		大学・短大・専門	就 職 ・公務員	進学浪人・他	未決定	在籍数
平成 26 年度	4月希望数	85	47	0	0	132
	9月希望数	77	52	1	0	130
	確定数	72	52	1	0	130
	確定%	93.5	100			
平成 27 年度	4月希望数	56	37	0	0	93
	9月希望数	61	31	0	0	93
	確定数	55	29	1	8	93
	確定%	90.2%	93.5%			
平成 28 年度	4月希望数	71	40	0	3	114
	9月希望数	66	47	1	0	114
	確定数	64	43	1	0	114
	確定%	97%	91.5%			
評 価		3				

（確定率は9月の進路希望をベースに算出した）

◇評価項目以外に本校で行っている主な取り組み

- ・小論文講座(2, 3年希望者、夏季休業中・1, 2年希望者、冬季休業中)
- ・進学課外の実施(1～3年)
- ・各種模試の実施（小論文、進研模試、学研実力診断テスト、看護・医療、公務員、就職）
- ・各種検定試験の実施（英語検定、漢字検定、数学検定、ワープロ検定、情報処理検定、毛筆検定）
- ・進路講演会(6月、11月)
- ・インターンシップ(2年生希望者、3日間の職場体験)
- ・就職ガイダンス（2, 3年就職希望者）
- ・地元企業見学会（1, 2年希望者）
- ・コミュニケーション能力育成講座（1年）
- ・進路ガイダンス（学年対応）
- ・朝自習（3年就職希望者・1学期）

◇総評：地元就職を希望する生徒にとっては、昨年以上の求人があり全体的には堅調だったが、県外を希望する生徒は苦戦を強いられている。過去に就職実績の無い企業や少し変わった職種（今年度は舞台設置や映像制作会社等）を希望した県外志望者は、未だに（2月中旬）内定を得られていない。能力を含めた生徒の適性と事業所が求めるものに関わりがあることを理解させるには、学校が保護者とよく話し合い、まず保護者に理解してもらうことが必要な場合もあると感じている。進学に関しては、国公立大学に合格者を出せなかったことが非常に残念である。ここ数年連続して合格者を出しており、また教員も生徒も一生懸命頑張り、対策に取り組んでいただけに落胆は大きかった。最近推薦入試の倍率が高くなり、以前ならば合格できた生徒が不合格になるケースも出てきている。

学力はもとより、自分で考え、言葉や文字にしてそれを相手に伝える力がより一層求められている。全体に対して言えることは、基礎学力の低下である。基礎的な学力は進路実現にばかりではなく、社会に出てからも必要となるものである。毎日の授業を大切にしながら、規則正しい生活を送ることが一番の進路対策であり、その後の成長にとっても重要なことであることを理解させていきたい。

★4 生徒指導の徹底 *規範意識の高揚を図る *思いやりの心を育む

◇アンケート評価：【総合=4.1】（中間評価=4.2） (アンケート項目番号 年間評価 中間評価)

・積極的な生徒指導の充実に努める。……………	(教員 13	4.0	4.1)
・基本的な生活習慣の確立を目指す。……………	(教員 14	4.0	4.1)
・規則の遵守とマナーの指導に努める。……………	(教員 15	4.0	4.3)
・安全教育の徹底を図り、事故防止に努める。……………	(教員 16	4.2	4.4)
・学校生活は楽しい。……………	(生徒 1	4.1	4.1)
・悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。……………	(生徒 5	3.8	3.8)
・私は礼儀をわきまえ、時と場に応じた言葉遣いをしている。…	(生徒11	4.3	4.4)
・私は服装や頭髪など身だしなみに気をつけて学校生活を行っている。…	(生徒12	4.4	4.5)
・学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。…	(保護者2	4.0	3.9)
・先生は生徒の間違った行動を厳しく指導している。……………	(保護者7	4.2	4.1)
・子どもは学校に行くのを楽しみにしている。……………	(保護者8	4.2	4.2)

◇達成目標数値評価

◎特別指導事故発生件数：前年度発生件数を参考に達成目標値4を設定する。

総数目標として前年の80%を達成目標値4とする。

特別指導件数及び人数	学期別								学年別						男女別	
	1学期		2学期		3学期		年間		1学年		2学年		3学年		男	女
年度	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	人数	人数
平成26年度	9	12	2	7	1	1	12	20	6	11	6	9	0	0	18	2
平成27年度	2	3	3	8	0	0	5	11	0	0	4	9	1	2	3	8
平成28年度	3	4	1	3	0	0	4	7	1	1	3	6	0	0	4	3
評価	3		4		5		4									

◇評価項目以外に本校で行っている主な取り組み

- ・交通安全講話（喜多方警察署）：道路交通法改正による自転車運転の注意点について
- ・弁護士による出前講座：携帯電話の使用と情報モラル、18歳からの選挙権について
- ・夏季休業事前指導：非行防止について、万引き防止について
- ・制服着こなしセミナー（制服業者）
- ・服装・頭髪に関する指導
- ・登校指導（年6回）
- ・遅刻指導（毎朝）図書部の「朝の読書」との連携
- ・校外補導（主に定期考査中）
- ・自転車の防犯に関する指導（自転車登録、2重ロックの徹底等）
- ・交通関係の指導（「4+1ない運動」、自転車乗車マナー等、事故発生後の対応等）
- ・JR乗車マナー指導（年間2回）
- ・自動車学校入校説明会（3学年）
- ・スクールカウンセラーによる教育相談（月2回程度）

◇**総評**：今年度は特別指導件数がやや減少した。高校生としての心構えや社会の一員としての自覚、規範意識等について、校内の指導体制を強化するとともに、保護者と連携した協力体制を整える必要があると思われる。また、2件の交通事故や、わいせつ被害等も多いことから、関係機関との連携を密にした安全に関する指導を十分に行っていききたい。クラスメイトと上手くコミュニケーションを図れない生徒や、不安やストレスを適切に解消する方法を見つけられない生徒に対しては、担任・養護教諭・スクールカウンセラーが連携して指導にあたり、改善されたケースも見られた。しかし、原因が家庭環境にある場合については、多くの時間と専門的知識が必要であり、今後も継続的な指導が必要となっていくことが予想される。基本的な生活習慣の確立と規範意識を高めるという観点から取り組んでいる遅刻指導、服装・頭髪に関する指導などには一定の効果が見られた。今後も教職員の継続的な指導と、生徒一人一人の意識の向上が必要であると感じている。

★5 教育環境の整備

◇**アンケート評価**：【総合=3.8】（中間評価=3.9）

	(アンケート項目番号)	年間評価	中間評価
・環境美化の習慣化を推進する。	…………… (教員 20)	4.2	4.3
・施設設備の充実を図る。	…………… (教員 21)	3.6	3.6
・学校の施設や設備などの環境は満足できる。	…………… (生徒 7)	3.5	3.6
・学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。	…………… (保護者 4)	3.7	3.9

◇評価項目以外で本校で行っている主な取り組み

- ・PTA協力による校門付近の環境美化（花壇づくり）
- ・生徒会との連携による美化活動（ボランティア清掃等）

◇**総評**：校内美化活動のための清掃用具の整備については、保健厚生部を中心に可能な限り修繕しながら使用するよう心がけた。また、今年度からインフルエンザ感染予防の観点から、各教室に加湿器を設置していただいた。保健委員会の生徒が衛生面に配慮しながら給水、清掃等、係の仕事を行った。さらに、今年度初めて、事務部に協力をいただきながら、保健委員会・家庭クラブ員会で各学期末のモップの洗濯を行った。今後も工夫しながら実施していきたいと思う。今後の課題として、ゴミの未分別があげられる。公共施設の利用マナーの徹底について、清掃指導とあわせて今後も継続した指導に努めていきたい。

★6 部活動の充実と振興

◇アンケート評価：【総合=4.0】（中間評価=4.1）

（アンケート項目番号 年間評価 中間評価）

- ・部活動を奨励し、活動促進に努める。……………（教員 17 4.0 4.2）
- ・部活動を通し、生徒の人的成長を図る。……………（教員 18 4.2 4.4）
- ・部活動の環境整備に努める。……………（教員 19 3.6 3.7）
- ・部活動や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。……………（生徒 8 3.9 4.0）
- ・子どもは積極的に学校行事や部活動に取り組んでいる。……………（保護者 10 4.2 4.3）

◇達成目標数値評価

◎インターハイ県大会出場部数、県大会上位入賞部数、東北大会・全国大会出場部数

：県大会出場部数 8、東北大会以上出場部数 2 を達成目標値 4 とする。

*団体・個人いずれでも男女いずれかが出場すれば部数としてカウント。県大会出場 9、東北大会以上 3 を 5 とする。

	県大会出場部数	東北・全国大会出場部数
平成26年度	◇ 8 (3)	◆ 3 (0)
平成27年度	△ 6 (3)	▲ 3 (0)
平成28年度	○ 5 (3)	● 3 (0)
達成目標値	8	2
評 価	3	5

※表中の（ ）内は 3 位以内入賞部数を表す。

◇ 8→陸上、卓球、弓道、ボート、バスケ、バレー、ソフト、バドミントン

◆ 3→陸上、卓球、ボート

△ 6→陸上、卓球、弓道、ボート、バレー、ソフト

▲ 3→陸上、卓球、ボート

○ 5→陸上、卓球、ボート、バレー、ソフト

● 3→陸上、卓球、ボート

◇評価項目以外で本校で行っている主な取り組み

- ・生徒活動の活性化のための外部講師招聘（華道）
- ・音楽部：入学式・卒業式・オープンスクール等での演奏
- ・高文連大会への参加（書道、演劇）
- ・各公募展への出品（書道）
- ・ボランティア活動への取組（家庭クラブや音楽部による施設訪問）
- ・音楽部演奏会の開催

◇総評：現在、運動部 9 部、文化部 4 部の計 13 部で活動しているが、今年は運動部でボート、卓球部が全国大会に出場し、陸上部が東北大会(新人戦)で優勝、入賞するなど小規模校ながら活躍が目立った 1 年であった。また、文化部においては書道部が全国大会に出場し、音楽部においては、吹奏楽班が吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、3 月に開催が予定されている音楽部演奏会は、昨年の小ホールから大ホールに規模が拡大し実施予定である。このように運動部、文化部とも生徒がしっかり活動し成果が出ている。しかし、その一方でインターハイの予選が終わり、新チームになった 1, 2 年生において部活動を辞める生徒がみられるなど課題もある。今後のこの背景を検討し、どう顧問や担任がかかわっていくのか働きかけが大切である。